

イチジカン®丸穴スリーブ

取扱説明書

「安全上のご注意」

ご使用前に必ず、この「安全上のご注意」を良くお読みいただき、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

●図記号の意味

	注意 ：気をつける必要があることを表しています。
	禁止 ：してはいけないことを表しています。
	指示 ：しなければならないことを表しています。

	警告 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	単心の電力ケーブルが貫通する場合は使用を避けてください。 子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。
	最大開口面積または直径以下で施工してください。 ケーブル・空調用冷媒配管等の貫通物種類および貫通物占積率は取扱説明書および認定書・評定書に従ってください。 取扱説明書または認定書・評定書に従って施工してください。
	貫通部防火措置部の仕上がり時は隙間のできないように施工してください。 壁貫通部の近傍に可燃物を置かないでください。

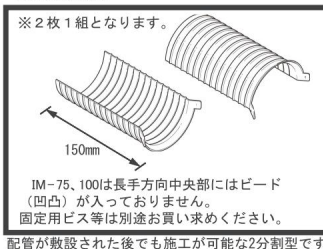
	注意 取扱いを誤った場合、傷害または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	金具を扱う場合は保護具を着用してください。 特殊な環境下で使用される場合は事前にご相談ください。 材料は貫通部以外の部分に使用しないでください。
	防水性が要求される場合は別途施工してください。 開口部の設置の仕方により、ズレを生じる場合は、別途固定支持してください。

●製品仕様

(単位：mm)

<製品形態>

品番	標準開口径	適用コアドリル径	長さ	板厚	入数
IM-75	φ 75	φ 75～φ 80	150	0.4	5組 (10枚)
IM-100	φ 100	φ 100～φ 110			
IM-125	φ 125	φ 125～φ 135			
IM-150	φ 150	φ 150～φ 160			



●適用対象

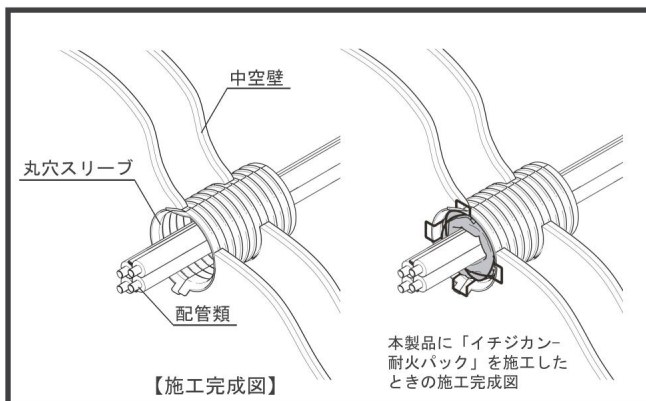
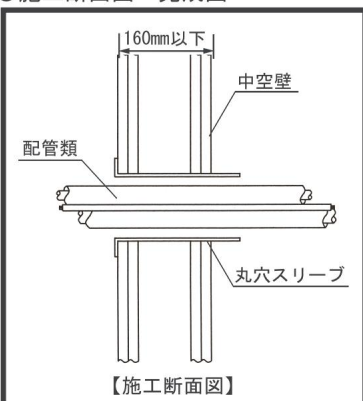
構造体	・壁厚方向に中空部分を含む構造の壁(せっこうボード壁など)で、耐火構造または準耐火構造としての国土交通大臣認定を取得しているもの(壁厚160mm以下) △ 壁厚160mmを超える中空壁貫通部には施工できません。
適用工法条件	・中空壁丸穴に対する区画貫通部防火措置の国土交通大臣認定を取得している工法で、板厚0.4mmの鋼板製スリーブ(枠)を貫通部に設置することで認定条件に適合するもの。 (例)「イチジカン耐火パック」(国土交通大臣認定番号：PS060WL-0197) (例)「ニジカン-A PW」(国土交通大臣認定番号：PS060WL-0455)
開口部	開口形状：円形φ160mm以下、開口面積：0.0201m ² 以下

△ 本製品は、単体で構造認定を取得しているものではありません。

●必要工具、部品など

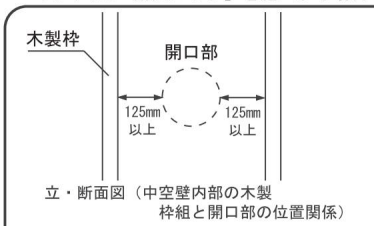
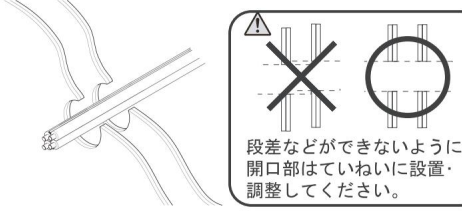
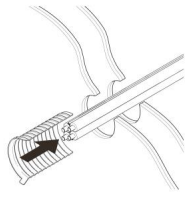
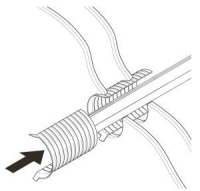
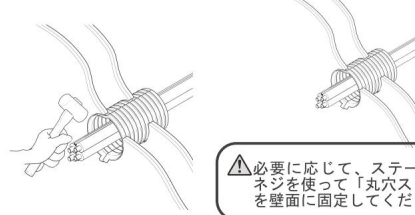
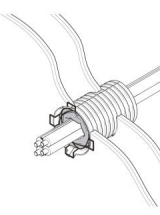
保護手袋(皮手袋、軍手など)	本製品を施工する際は、必ず着用をお願い致します。
金切りばさみ	壁厚に合わせて丸穴スリーブを切断する場合に必要となります。
ハンマー	丸穴スリーブ設置後に固定位置を微調整する場合などに必要となります。
ステップル・ステップル用釘打ち機、または固定ビスなど	中空壁に丸穴スリーブを固定する場合に1箇所あたり2～4本のステップル(または固定ビス)が必要となります。
中空壁用目地材(開口と丸穴スリーブの隙間埋め用)	無機充填材(せっこうボード用目地材など)が必要となります。

●施工断面図・完成図



● 施工手順 (例: 断熱被覆銅管)

⚠ 開口面積、配管・電線ケーブル占積率および壁厚などが認定条件に適合していることをあらかじめご確認ください。

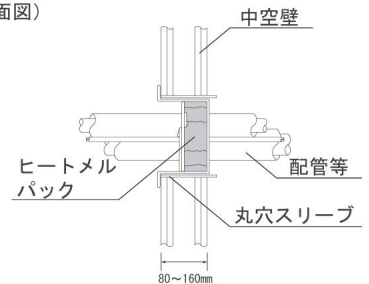
<p>① 開口部の確認および清掃</p> <p>「イチジカン-耐火バック」を施工する場合</p>  <p>立・断面図 (中空壁内部の木製枠組と開口部の位置関係)</p> <p>中空壁構造において、木製枠組等の木製部材を使用する場合は、その隙間を125mm以上あけた位置に貫通部を設けてください。</p> <p>⚠ 施工の際は、端面などでケガをしないよう、必ず保護手袋の着用をお願い致します。</p>	<p>⚠ 配管・ケーブルに外傷等の異常がないことをチェックし、束ねられ、開口部の前後で支持固定されていることを確認してください。</p>  <p>段差などができないように、開口部はていねいに設置・調整してください。</p> <p>開口径は、製品仕様の適用コアドリル径を参照し、なるべくきれいな円状になるように設けてください。所定の配管類を通して設置した後、開口内部および開口部縁の突起物をウエスなどで取り除いてください。</p>	<p>② 「丸穴スリーブ」の設置 1</p>  <p>「丸穴スリーブ」(片方の部材)を開口内部に挿入します。この際、反対側の壁まで「丸穴スリーブ」の部材が到達していることを必ず確認してください。</p>
<p>③ 「丸穴スリーブ」の設置 2</p>  <p>②で設置した「丸穴スリーブ」の内側に、もう片方の「丸穴スリーブ」をスライドさせるように挿入します。</p>	<p>④ 開口部との取り合い確認</p>  <p>⚠ 必要に応じて、ステープルやネジを使って「丸穴スリーブ」を壁面に固定してください。</p> <p>「丸穴スリーブ」端面のテーパ(傾斜)部を、ハンマー等で軽くたたいて開口内周になじませます。</p> <p>開口部と「丸穴スリーブ」との間に隙間がある場合(施工側・反施工側とも)は、中空壁用目地材(せっこうボード用目地材などの無機充填材)を用い、隙間が無くなるように埋めてください。</p>	<p>⑤ 防火措置工法の施工</p> 

⚠ 施工・取扱上の注意 (必ずお読みください)

- 認定条件をよくお読みのうえ、最適な品番を選び正しく施工してください。
- 本製品は屋内専用です。保管の際も、水に濡れないようにしてください。
- 中空壁に貫通部をあける際、穴あけ専用の工具(電動工具、コアドリルなど)を使用し、できるだけいねいに開口を設置してください。隙間があると、「丸穴スリーブ」がずれる恐れがあります。
- 下記、例①のように、片側の壁面に「丸穴スリーブ」が突き出す場合、例②のようにあらかじめ壁厚に合わせて切断して頂くか、例③のように「丸穴スリーブ」の周囲に壁材等(中空壁を構成している材料等)を設置してください。
- 「イチジカン-耐火バック」をご使用の場合、キット品内の支え金具を「丸穴スリーブ」内に収めるため、その長さを100mm未満に切断しないように注意してください。


「イチジカン-耐火バック」を施工した場合

例① (断面図)



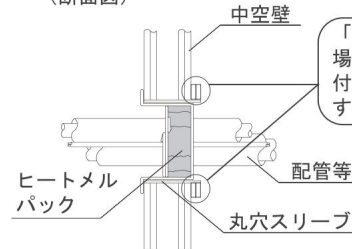
「丸穴スリーブ」の突き出しが気になる場合

例②



「丸穴スリーブ」は厚さ0.4mmの鋼板なので、金切りばさみで切断できます。あらかじめ壁厚に合わせて切断し、設置すると納まりが良くなります。

例③ (断面図)



「丸穴スリーブ」を切断しない場合は、周囲に壁材などを貼り付け、端面が露出しないようにするなどの施工も可能です。

技術事項のお問い合わせは

株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5丁目1番8号

TEL : 0463-24-9341 FAX : 0463-24-9346

URL : <http://www.furukawa-ftm.com/>

E-mail : bosai@ftm.fitec.co.jp